平成２9年１月30日

福祉保健局

障害者への差別事例及び合理的配慮の好事例等の調査結果概要

* **募集概要**
  1. **募集期間**平成28年10月24日（月）から平成28年12月16日（金）まで
  2. **募集内容**主に法施行後の平成28年度以降に、自身で体験したり見聞きした以下の事例
     1. 「障害を理由とする差別を受けたと思った事例」・「適切な配慮がなくて困った事例」
     2. 「障害のある方への配慮の良い事例」
  3. **募集対象**東京都にお住まいの方、又は東京都内に通学、通勤、通所している方
  4. **応募方法**郵送、ＦＡＸ、又はＥメール
  5. **備考**

お寄せいただいた事例についての回答は行わない旨予め周知のうえ実施

* **集計結果の概要について**
  1. **件数**124件
  2. **内容の分類**
  3. **応募経路の分類**



* 1. **応募者（記入者）の分類**



* 1. **分野の分類**



* 1. **障害種別の分類**



* **応募事例の例**
  1. **障害を理由とする差別を受けたと思った事例・適切な配慮がなくて困った事例**
     1. 「医療・福祉」関する事例  
        ・本人がいるのに、親に「この子は重度だから・・・」と話す。

・作業療法を継続して受けたいと話したら「ふつう、学校で教えてもらうことだ・・・」と普通学級の小学校に行っていることを非難された。

* + 1. 「学校」に関する事例  
       医療ケアを理由に、障害児本人を見ることもなく電話で幼稚園への入園を断られた。地域の小学校へ行くことができない。
  1. **障害のある方への配慮の良い事例**
     1. 「医療・福祉」関する事例  
        私は足に障害を抱えており、両松葉を使っています。いつも、病院では、書類での呼び出しがあると、「こちらから伺います」と言って、私が待合室の椅子のところへ書類を持ってきてくれます。ちょっとしたことですが、そういった気遣いがうれしいです。
     2. 「職場」に関する事例  
        職場のスタッフ。仕事の内容が変わったときに、口だけで説明したのでは分からないので、見本を書いてもらって、コピーして下さったのが良かったです。